



令和8年8月1日
目黒区立目黒本町保育園園長

本格的な暑さを迎え、子どもたちは水遊びやプールなど夏ならではの遊びを楽しんでいます。

先日、3・4・5歳児の子どもたちの目の前で大きなすいかを調理師が切ってくれました。切りたてのすいかをテラスで食べ、口の中のタネは園庭で“タネとばし”をしました。園庭に絵やラインが書いてあるところをめがけて口元に全神経を集中です。「波(ライン)を越えた!」「冠(絵の中)に入ったよ」と夢中でタネをとばす中、気づいたらすいかはきれいに食べ終わっていました。担任は「いつも食べない子も含めて全員すいかを食べてしまいました」と驚きの表情です。また、その様子を食い入るように見ていた2歳児の子どもは、おやつ後自分のお皿にとっておいたタネを口に含んでテラスでとばしてしていました。口から真っ直ぐ下にこぼれ落ちて満足そうな顔です。

食育は食の美味しさプラス楽しさが大切だと改めて感じます。今好き嫌いがあっても、食事の幸せな記憶が成長とともに自然と食事の幅も広げていくといいます。現在次々に収穫を迎えている野菜を食べることや、昔は風物詩だったすいかのタネとばしからも、食育への学びはたくさんあると思います。これからも子どもたちとたくさんの楽しい“食”を感じていきたいと考えています。

~0.1.2歳児クラスの水遊びの様子~

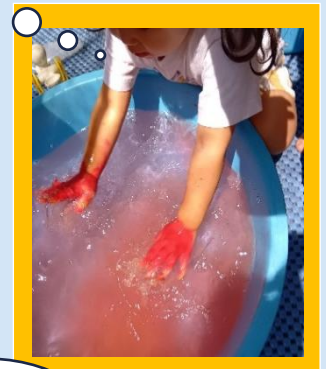
水の感触や変化などを五感を刺激しながら楽しんでいます。

8月の行事予定	
プールじまい	幼児クラス
避難訓練	全クラス
身体測定	全クラス

水に触れるかな



絵の具のついた手でジャブジャブ



窓にパタパタ



ぷにぷに



水をかけたら水車が回ったよ



ぽとん





～幼児クラスのプール遊びの様子～

こぐまぐみ(3歳児)

プールに入ることに慣れてきて「今日は何に変身しちゃう」と聞くと「シャチ」「ペンギン」「タコ」そして時には「イス」とそれぞれのイメージを体で表現しながらプールの中を進んでいきます。足を延ばして座った姿勢で手だけで進んでいる子がいたので「それは、なあに？」と聞くと「え、タコだよ」と後ろ向きに進んでいきます。足がフワフワ浮いている様がまるでタコのように「本当だ、タコみたい」というと嬉しそうでした。はじめてのプール遊びでは色々なものになったつもりで遊び、水の心地よさを全身で楽しんでいます。



ぞうぐみ(4歳児)

友達がイルカジャンプでフープをくぐり、水に潜る姿を見て「自分もやってみたい」と憧れの気持ちを膨らませています。ワニ泳ぎをしながら真剣な表情でタイミングを見計らい、勇気を出して口までつけてみると思いがけず鼻まで水がかかってしまいました。驚きの表情をしますが、周りの友達が楽しんでいるのを見ると「鼻までかかって大丈夫だった、という喜びの表情になり保育士を見ています。保育士の「水に顔をつけられたね。大丈夫だったね」の言葉に「もう一回やってみる」と今度は自ら水に顔をつけていました。見事成功し、水から顔を上げた時の満面の笑みには達成感が溢れていました。友達と一緒にプール遊びが楽しく、一人ひとりの自信に繋がっています。



らいおんぐみ(5歳児)

どんな物が浮くか遊びの中で試しペットボトルが浮く発見から、ペットボトルを繋げた浮き具を作り、プールで実際に乗って足を伸ばしてみました。「本当に浮いたよ」とふわっと浮く感覚を楽しみながら足をバタバタさせた時に、思わずぐるんと回ってしまいました。本人はバランスを崩したと思ったのですが、周りの子に「すごい、回ったよ」「どうやるの」と聞かれて、照れながらもやり方を教えていました。「やるよ、みてて」と友達の前でぐるんと得意げに回って見せ「竜巻回転」と名前もつけていました。友達に泳ぎ方を教えてもらったり、泳いでいる姿に刺激され「自分もやってみる、という気持ちになったりと友達の存在が自分の力を発揮する後押しをしてくれています。

